

日中関係は本当に最悪なのか？

日中経済交流の現状を語る

主催：日本僑報社/北京日本人学術交流会/日本大使館

中国ビジネス最前線の経済人ら33人が執筆した「日中関係は本当に最悪なのか」（日本僑報社）の出版に合わせ、同書執筆者や特別ゲストが日中経済交流の現状について報告する。



特別挨拶

木寺昌人 在中国大使

胡 鞍鋼 清華大学教授（予定）



【講演予定者と講演タイトル】

基調講演

三井化学株式会社 社長補佐／中国総代表 得丸洋
「等身大の情報発信が日中ビジネスの基礎」

在香港中国研究者 稲垣清
「中国のハーバード大研修と日中人材交流」

自治体国際化協会北京事務所長 寺崎秀俊
「具体的成果が求められる地域間交流」

東京電力北京事務所首席代表 松岡豊人
「技術文化共有の研修プログラム」

北京普洛泰克環境工程有限公司国際部經理 佐野史明
「『80後海帰』と取り組む中国環境ビジネス」

理愛（北京）企業管理諮詢公司副總經理 張雪梅
「日本的介護サービスと中国的人情」

北京日本人学術交流会代表 山口直樹
「中国サービス革命の現場—火鍋チェーン店の挑戦」



14:00 開場

14:30 開会・特別挨拶

段躍中・日本僑報社編集長

15:30 講演

16:30 質疑応答ほか

17:00 閉会

【会場】 日本大使館館多目的ホール（朝陽区亮馬橋東街1号）

【日時】 2014年10月19日（日）14:00-17:00

【費用】 無料（入場の際には身分証明書をご持参ください）

問い合わせは実行委員会事務局・斎藤淳子（133-1133-0131）へ
参加申込先は、info@duan.jp（氏名・所属・電話番号をご明記ください）